

令和6年度 第1回実りある学舎を開催しました！

《日 時》 令和7年1月22日(水) 13:30～15:00

講演内容 日本の港湾が抱える課題と対応策及び世界の先進事例と管内港湾への波及について

《講演者》 株式会社日本港湾コンサルタント

特別顧問

東京支店

港湾DX推進部長

港湾DX推進部 調査役

高橋浩二 氏

高橋琢磨 氏

宋相鎬 氏



株式会社 日本港湾コンサルタント

1. 日本の港湾(コンテナ、バルク等)が抱える課題と対応策

～労働災害ゼロと生産性向上の両立を目指す世界の取組みを踏まえて～

課題1-①：港湾労働災害「ゼロ」

課題1-②：担い手不足

課題1-③：慢性的なゲート前渋滞

2. 世界の先進事例と管内港湾への波及について

2-1：韓国最新ターミナルの情報

2-2：自動化・遠隔操作による担い手確保

2-3：自動運転トレーラーの普及による港湾へのインパクト

2-4：国境を超える遠隔管理・遠隔操作

令和6年度 第2回実りある学舎を開催しました！

《日 時》 令和7年3月3日(月) 13:30～15:45

講演内容Ⅰ 環境モニタリングの新技術

《講演者》 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

インフラDX研究領域 ビッグデータ研究グループ長 兼

海洋環境制御システム研究領域海洋環境情報研究グループ長 細川 真也 氏



近年世界的にも技術開発が進んでいる環境DNA や遺伝子の解析技術が、如何に生物調査の低コスト化を可能にするかを解説し、港湾における生物多様性モニタリングの展望について述べる。

合わせて、広島港湾空港技術調査事務所（主催者）からの受託研究により、講演者が取り組んできた、比較的安価に海草・海藻分布の把握を可能とする技術を紹介。

講演内容Ⅱ 鉄イオンによるブルーカーボンの活性化と海環境・水産資源の復活

《講演者》 県立広島大学 名誉教授

生命環境イノベーション研究所 代表

田中 稔次郎 氏



鉄理論による二酸化炭素削減のメカニズム及び水溶性二量体鉄塩（と鉄イオン溶出体を用いた海環境・資源の回復の実証事例について報告。